

2021年3月期第3四半期 決算説明資料

2021.2.5

TIS株式会社

© 2021 TIS Inc.

(2021年2月5日開催 アナリスト向け決算説明電話会議 プレゼンテーション要旨)

- ・TISの安達でございます。よろしくお願いいたします。
- ・今回も電話会議という形式になりますが、よろしくお願いいたします。

2021年3月期第3四半期 業績概要

2021年3月期 業績見通し

参考資料

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ（TISおよびグループ会社）が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・各四半期会計期間（3カ月）の数値は累計期間の差引により算出しています。

・各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

・当社は、2020年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、2020年3月期以前の1株当たり当期純利益および1株当たり配当金については、当該株式分割の影響を考慮しています。

・特定顧客について金融業界に特化した専門的な業務ノウハウをベースとしたビジネスから、当該業種ノウハウの汎用化・テンプレート化した知識集約型のビジネスへの展開により、当該顧客との取引は、2020年3月期は金融IT、2021年3月期はサービスITに計上されています。

⇒影響ページ：5・7・10・13・18

・それでは、本日15時半に発表いたしました、当社の第3四半期決算の内容につきまして、決算説明資料を使ってご説明させていただきます。

2021年3月期第3四半期 業績概要

2021年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

- ・前年同期並みで着地。第3四半期（10-12月）では前年同期比増収増益に転じる。
・処遇改善やブランド強化等、将来に向けた戦略的な投資を継続する中でも収益性は維持。

（百万円）	2020年3月期 第3四半期 （累計）	2021年3月期 第3四半期 （累計）	前年同期比	
売上高	319,009	318,033	▲976	（▲0.3%）
営業利益	30,103	30,088	▲15	（▲0.1%）
営業利益率	9.4%	9.5%	+0.1P	－
親会社株主に帰属する 四半期純利益	20,436	18,121	▲2,314	（▲11.3%）
四半期純利益率	6.4%	5.7%	▲0.7P	－

- ・営業外収益：1,556百万円（前年同期比 ▲405百万円）
→受取配当金 874百万円 等
- ・特別利益：4,063百万円（前年同期比 ▲3,169百万円）
→投資有価証券売却益 3,854百万円 等
- ・営業外費用：4,113百万円（前年同期比 +3,440百万円）
→持分法による投資損失 3,719百万円 等
- ・特別損失：2,250百万円（前年同期比 ▲4,946百万円）
→減損損失 893百万円、投資有価証券評価損 970百万円 等

- ・まず、4ページをご覧ください。
- ・「第3四半期累計の業績は前年同期並みでの着地となりました。これは第3四半期が前年同期比増収増益に転じたことによるものであり、「第3四半期から当社グループの事業環境が正常化する」との期初想定に沿った動きであったと考えています。
- ・売上高は前年同期比0.3%減の3,180億円、営業利益は前年同期比0.1%減の300億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比11.3%減の181億円となりましたが、これは第2四半期における持分法による投資損失の影響を受けたものです。
- ・特に上期における厳しい事業環境の中にあっても、処遇改善やブランド強化等、将来に向けた戦略的な投資を継続できたこと、また、そうした投資負担がありながらも営業利益率を前年同期比0.1%増の9.5%で着地させることができたことは、収益性重視の経営を徹底したからこそだと考えています。

2021年3月期第3四半期（累計） 主要セグメント別損益状況（前年同期比）

	(百万円)	2020年3月期 第3四半期 (累計)	2021年3月期 第3四半期 (累計)	前年同期比	
サービスIT	売上高	89,901	93,695	+3,794	(+4.2%)
	営業利益	5,112	5,123	+11	(+0.2%)
	営業利益率	5.7%	5.5%	▲0.2P	—
BPO	売上高	24,619	26,025	+1,406	(+5.7%)
	営業利益	1,767	2,142	+375	(+21.2%)
	営業利益率	7.2%	8.2%	+1.0P	—
金融IT	売上高	81,963	80,597	▲1,365	(▲1.7%)
	営業利益	10,510	10,680	+170	(+1.6%)
	営業利益率	12.8%	13.3%	+0.5P	—
産業IT	売上高	144,506	137,905	▲6,600	(▲4.6%)
	営業利益	12,601	12,430	▲170	(▲1.4%)
	営業利益率	8.7%	9.0%	+0.3P	—

サービスIT：決済関連やクラウド関連の事業拡大が牽引し、増収増益。新規子会社連結影響等を吸収。
 BPO：コールセンター業務をはじめとするアウトソーシング需要の増加基調や給付金対応等を受けて、増収増益。
 金融IT：根幹先顧客は堅調なものの、企業活動の停滞影響等により減収の中、案件採算性向上等により増益。
 産業IT：根幹先好調や子会社化した企業の寄与がある中、地方・中堅中小企業を中心にIT投資抑制が強く、減収減益。

・続いて、主要なセグメント別の状況です。

・「サービスIT」は、決済関連やクラウド関連の事業拡大が牽引し、売上高は前年同期比4.2%増の936億円と伸長し、営業利益については先行投資負担や新規子会社連結によるマイナス影響がありながらも前年同期比0.2%増の51.2億円を確保することができました。

・「BPO」は、コールセンター業務の需要増や給付金対応等を受けて堅調に推移し、売上高は前年同期比5.7%増の260億円、営業利益は21.2%増の21.4億円の増収増益という結果でした。

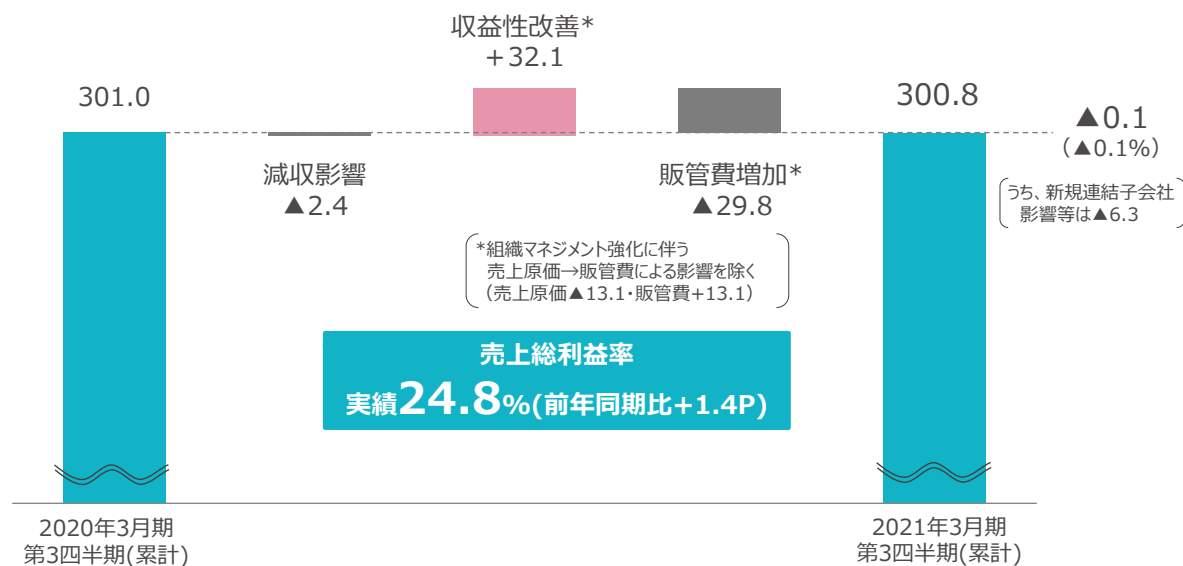
・「金融IT」は、特に第1四半期における根幹先企業活動の停滞による案件の遅れ等を受けて、売上高は前年同期比1.7%減の805億円となりましたが、営業利益は案件採算性の向上等により前年同期比1.6%増の106億円と、増益で着地しました。

・「産業IT」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を最も大きく受けており、地方や中堅中小企業を中心としたIT投資抑制の動きを受けて、売上高は前年同期比4.6%減の1,379億円、営業利益は前年同期比1.4%減の124億円となりました。減収減益という厳しい結果でしたが、その中でも収益性重視に取り組み、営業利益率は0.3ポイント増加の9.0%となりました。

2021年3月期第3四半期（累計） 営業利益要因別増減分析（前年同期比）



（億円）



構造転換推進のための先行投資コスト：前年同期比▲ 1.1

- ✓「新サービス創出のためのソフトウェア投資」
 - ✓「構造転換を促進するための人財投資」
 - ✓「先端技術獲得のための研究開発投資」
- に関するコスト

早期認知獲得のためのブランド関連コスト：前年同期比+ 8.7

<販管費増減>

20/3期3Q累計実績	443.8
組織マネジメント強化	+ 13.1
新規連結子会社影響等	+ 12.2
その他増加	+ 17.6
21/3期3Q累計実績	486.7

© 2021 TIS Inc.

6

- ・次に、営業利益の要因別増減分析です。増減額は当期から行っている組織マネジメント強化に伴う、売上原価から販管費への変更による影響を除いて説明いたします。
- ・前年同期に比べて、減収影響で2.4億円の利益減、収益性改善で32.1億円の利益増の結果、売上総利益は29.7億円増加しました。売上総利益率については前年同期比1.4ポイント上昇の24.8%にまで向上しました。
- ・販管費は29.8億円増加しましたが、これは主に、処遇改善やブランド関連施策による増加 20億円強、新規連結子会社の影響等による増加 約12億円、コスト抑制による減少 約14億円によるものです。
- ・以上の結果、営業利益はほぼ前年同期並みとなりました。
- ・また、不採算案件は第3四半期では約2億円の発生に抑えることができ第3四半期までの累計では10億円弱という実績となっています。引き続き抑制に向けた取り組みを継続してまいりたいと考えています。

(参考) 2021年3月期第3四半期 (10-12月)
業績ハイライト・主要セグメント別損益

(百万円)		2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	前年同期比	
売上高		102,713	106,724	+4,011	(+3.9%)
営業利益		11,003	11,876	+873	(+7.9%)
営業利益率		10.7%	11.1%	+0.4P	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益		7,169	7,844	+674	(+9.4%)
四半期純利益率		7.0%	7.4%	+0.4P	—
主要セグメント別					
サービスIT	売上高	30,033	30,825	+792	(+2.6%)
	営業利益	2,654	2,550	▲104	(▲3.9%)
	営業利益率	8.8%	8.3%	▲0.5P	—
BPO	売上高	8,397	8,959	+562	(+6.7%)
	営業利益	773	833	+59	(+7.7%)
	営業利益率	9.2%	9.3%	+0.1P	—
金融IT	売上高	26,506	27,006	+499	(+1.9%)
	営業利益	3,584	4,005	+420	(+11.7%)
	営業利益率	13.5%	14.8%	+1.3P	—
産業IT	売上高	45,092	46,432	+1,339	(+3.0%)
	営業利益	4,088	4,630	+542	(+13.3%)
	営業利益率	9.1%	10.0%	+0.9P	—

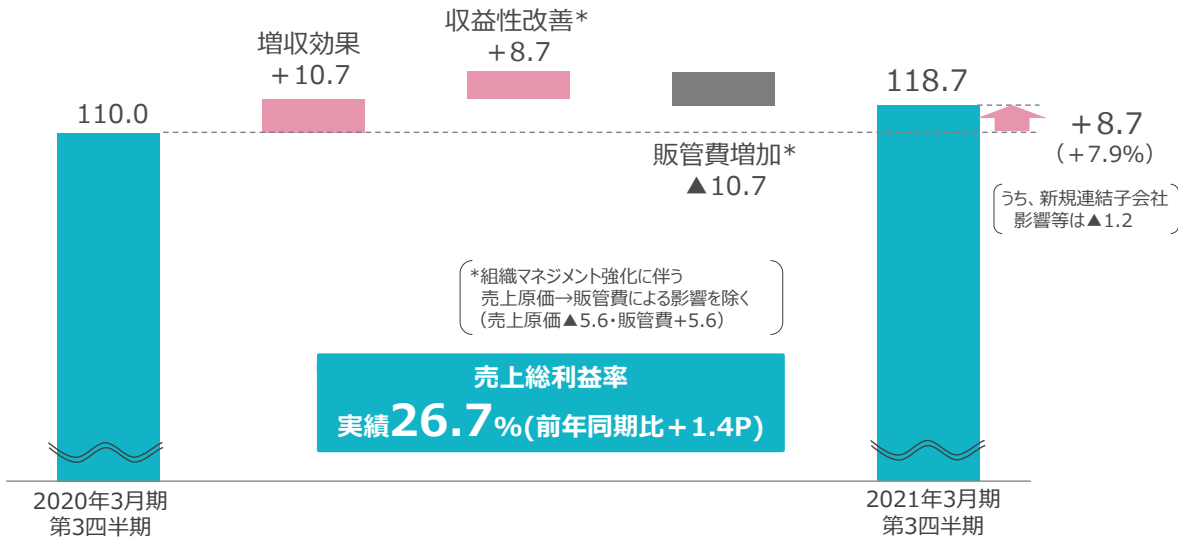
© 2021 TIS Inc.

7

- ・7ページ・8ページは、第3四半期の3か月間の業績を示したものです。
- ・冒頭でご説明した通り、増収増益に転じているわけですが、通期目標達成に向けた進捗状況として概ね予定通りであると考えております。

(参考) 2021年3月期第3四半期 (10-12月)
営業利益要因別増減分析 (前年同期比)

(億円)



構造転換推進のための先行投資コスト：前年同期比▲0.1

- ✓「新サービス創出のためのソフトウェア投資」
 - ✓「構造転換を促進するための人財投資」
 - ✓「先端技術獲得のための研究開発投資」
- に関するコスト

早期認知獲得のためのブランド関連コスト：前年同期比+0.7

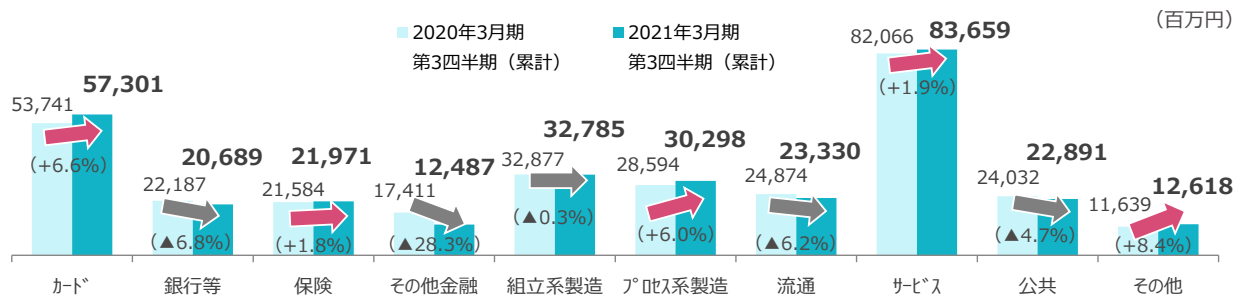
<販管費増減>

20/3期3Q実績	149.9
組織マネジメント強化	+5.6
新規連結子会社影響等	+5.7
その他増加	+5.1
21/3期3Q実績	166.3

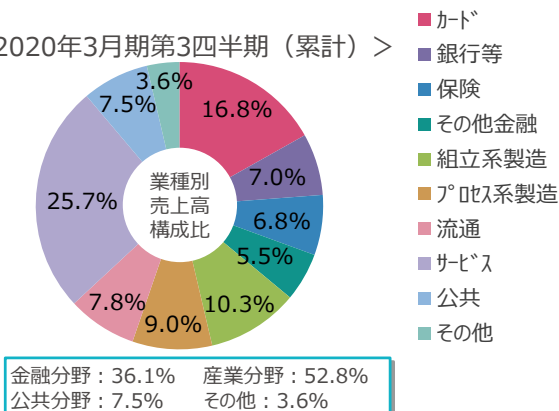
(説明省略)

2021年3月期第3四半期（累計） 顧客業種別売上高

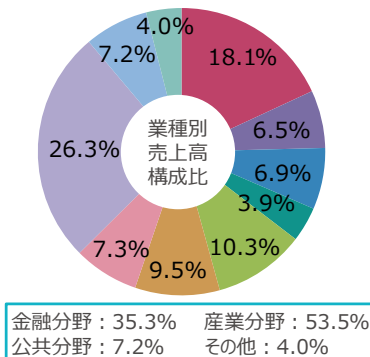
・カード・プロセス系製造は根幹先顧客向け取引が牽引して好調。銀行・流通等は厳しい状況。



＜2020年3月期第3四半期（累計）＞



＜2021年3月期第3四半期（累計）＞



・9ページは顧客業種別売上高の状況です。

・「カード」および「プロセス系製造」は根幹先顧客を筆頭に好調であり、「保険」、「サービス」についてもプラスへ転じてまいりました。

・「銀行」や「流通」は厳しい状況にある一方、「銀行」以外で減少している「その他金融」や「公共」は反動減を受けている状況であり、実勢ベースで弱いわけではありません。

- ・前年同期比減少だが、根幹先顧客からの受注状況は好調。第3四半期（10-12月）の産業ITは前年同期並みに持ち直し、金融ITは減少したが顧客のIT投資意欲に大きな変化なし。
- ・期末受注残高（サービスIT）には2020年10月に子会社化したMFEC分が大きく寄与。

（百万円）	2020年3月期 第3四半期 （累計）	2021年3月期 第3四半期 （累計）	前年同期比	
当期受注高	175,008	162,020	▲12,988	(▲7.4%)
サービスIT	41,419	41,063	▲356	(▲0.9%)
金融IT	47,797	43,705	▲4,091	(▲8.6%)
産業IT	85,791	77,251	▲8,540	(▲10.0%)
期末受注残高	77,328	74,984	▲2,343	(▲3.0%)
サービスIT	17,669	22,145	+4,475	(+25.3%)
金融IT	23,011	22,311	▲700	(▲3.0%)
産業IT	36,647	30,528	▲6,119	(▲16.7%)

（参考）直近四半期

（百万円）	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	前年同期比	
当期受注高	55,558	52,599	▲2,958	(▲5.3%)
サービスIT	13,477	13,612	+134	(+1.0%)
金融IT	15,714	13,127	▲2,587	(▲16.5%)
産業IT	26,365	25,859	▲506	(▲1.9%)

© 2021 TIS Inc.

10

- ・10ページは第3四半期の受注状況を掲載しています。
- ・第3四半期累計の「ソフトウェア開発」に係る受注高は、前年同期比7.4%減の1,620億円となりました。主に第1四半期に営業活動が困難だったことが要因です。
- ・中堅中小企業を中心としたIT投資動向はまだ慎重な姿勢が続いていますが、カード・プロセス系製造をはじめとして根幹先顧客は引き続き好調に推移しています。産業ITも第3四半期には前年同期並みに持ち直しており、明るさを増してきています。また、金融ITの減少は受注計上時期の影響等によるものであり、顧客のIT投資動向等、事業環境に大きな変化があったわけではございません。
- ・業種や顧客毎の差はありますが、根幹先顧客や大手企業を中心として、投資意欲の強い顧客からの引き合いが強まっており、規模を伴う案件の引き合いやパイプラインも増えてきていますので、今後についてはあまり心配していないというのが、我々の見方です。
- ・期末受注残高には2020年10月に子会社化したMFEC分が大きく寄与しています。
なお、MFECに関する業績や受注高の連結反映は第4四半期からとなります。
- ・以上が、第3四半期決算の実績に関する説明となります。

2021年3月期第3四半期 業績概要

2021年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける中、M&A効果もあり、前期並み水準を目指す。
- ・収益性重視の経営方針を堅持し、営業利益率は10%を維持。

(百万円)	2020年3月期 実績	2021年3月期 修正計画	前期比	
売上高	443,717	445,000	+1,283	(+0.3%)
営業利益	44,839	44,500	▲339	(▲0.8%)
営業利益率	10.1%	10.0%	▲0.1P	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	29,411	29,500	+89	(+0.3%)
当期純利益率	6.6%	6.6%	+0.0P	—
1株当たり当期純利益 (円)	116.78	117.77	+0.99	(+0.8%)
ROE	12.5%	11.8%*	▲0.7P	—

*2021年3月期のROEは、試算値。

2021年3月期業績予想の前提条件

- ・新型コロナウイルス感染症による影響の収束時期を合理的に見通すことができないため、確度の高い業績予想の算出は困難。
- ・2021年3月期の業績予想は「経済活動が徐々に回復していることに伴い、第3四半期から当社グループの事業環境が正常化」との仮定で算出。
- ・実際の新型コロナウイルス感染症拡大の収束状況等によっては業績予想を変更する可能性あり。

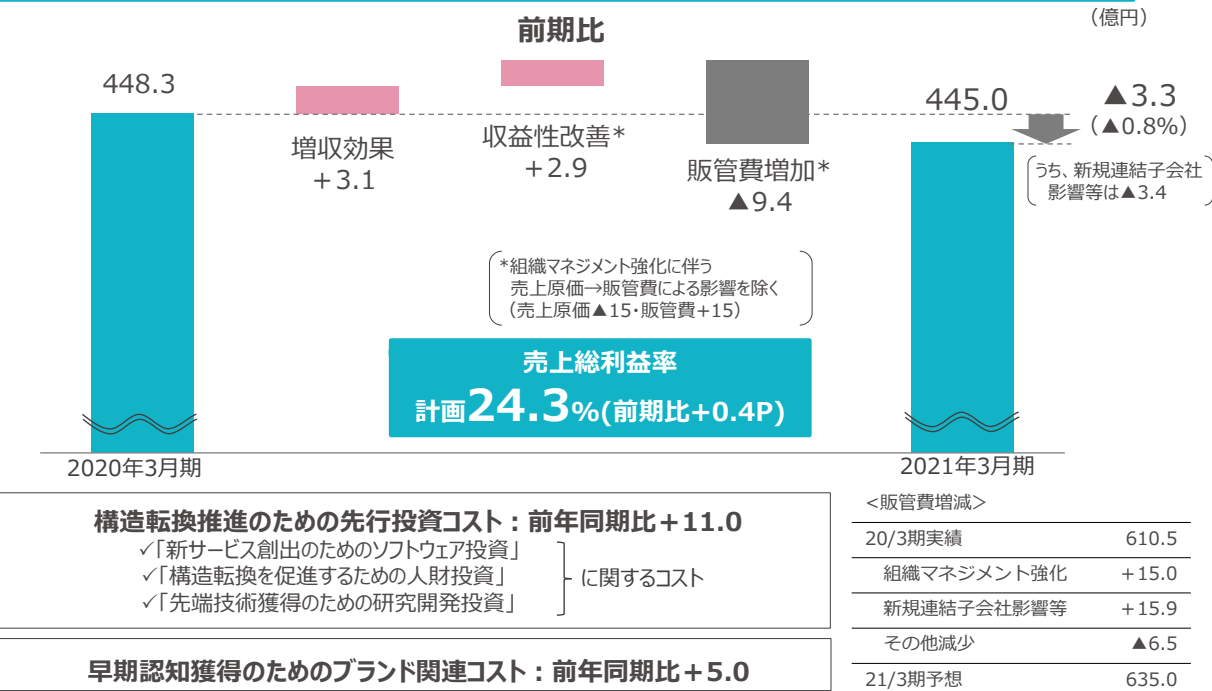
- ・続きまして、12ページをご覧ください。通期業績見通しについてです。
- ・2021年1月に緊急事態宣言が再発出されましたが、現時点までにおいて特に事業活動に大きな変化は生じておらず、事業環境に対する見方も変わっておりません。第3四半期累計期間での通期計画に対する進捗状況も前年同期並みにあり、そうしたことを踏まえて、上期決算発表の時に見直した2021年3月期の通期業績見通しの変更はありません。
- ・売上高は前期比0.3%増の4,450億円、営業利益は前期比0.8%減の445億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比0.3%増の295億円を計画しています。
- ・引き続き、将来に向けた成長投資を推進しつつ、収益性を重視する経営方針を堅持することにより、営業利益率10%の維持を目指します。
- ・以上が、通期業績見通しに関するご説明となります。

（百万円）		2020年3月期 実績	2021年3月期 修正計画	前期比	
サービスIT	売上高	125,518	134,500	+8,982	(+7.2%)
	営業利益	8,198	8,800	+602	(+7.3%)
	営業利益率	6.5%	6.5%	±0.0P	－
BPO	売上高	33,699	33,500	▲199	(▲0.6%)
	営業利益	2,622	2,600	▲22	(▲0.8%)
	営業利益率	7.8%	7.8%	±0.0P	－
金融IT	売上高	114,472	115,000	+528	(+0.5%)
	営業利益	14,936	15,300	+364	(+2.4%)
	営業利益率	13.0%	13.3%	+0.3P	－
産業IT	売上高	202,701	196,000	▲6,701	(▲3.3%)
	営業利益	19,159	18,100	▲1,059	(▲5.5%)
	営業利益率	9.5%	9.2%	▲0.3P	－

サービスIT：
決済関連ビジネス、クラウド等のIT投資の取り込みが牽引し、増収増益の計画。期中のM&A効果も押し上げ要因。
BPO：
新規受注への影響はあるも、事業環境変化の影響は軽微と想定し、売上高・営業利益ともに微減の計画。
金融IT：
根幹先顧客のIT投資需要の取り込みや、付加価値ビジネスの推進、生産性改善などにより、増収増益の計画。
産業IT：
期中のM&A効果はあるものの、製造業や中堅中小企業のIT投資抑制の影響を想定し、減収減益の計画。

（説明省略）

- ・子会社の新規連結影響等を除く実勢ベースで前期並みの水準を維持する計画。
- ・将来成長に資する投資を継続する一方、生産性向上施策の継続、本社機能高度化プロジェクト“G20”の効果を含めたコストコントロール強化を推進。



(説明省略)

2021年3月期第3四半期 業績概要

2021年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

・ブランド強化の一環として、2021年2月よりCIロゴ及びブランドメッセージを変更。

グループロゴマーク



お客様の課題解決を共に取り組む
パートナーとなることを目指し、
「信頼感」「あたたかみ」
をロゴデザインで表現。

ブランドメッセージ

Go Beyond

ITで、社会の願い叶えよう。

グループ基本理念「OUR PHILOSOPHY」で掲げている
「デジタル技術を駆使したムーバー」として、
社会課題を解決し、新たな価値を創造するグループを
目指していくことを表現。

- ・最後に、トピックスとしてブランド強化施策についてご説明いたします。16ページをご覧ください。
- ・2月1日にプレスリリースもいたしましたが、コーポレートアイデンティティであるロゴマークやブランドメッセージの刷新を行っております。
- ・新しいグループロゴマークにつきましては、お客様の課題解決を共に取り組むパートナーとなることを目指し、菱形の角に丸みを持たせることで、「信頼感」「あたたかみ」を表現しております。
- ・また、「ITで、社会の願い叶えよう。」を新たなブランドメッセージとし、グループ基本理念「OUR PHILOSOPHY」で掲げている「デジタル技術を駆使したムーバー」として、社会課題を解決し、新たな価値を創造するグループを目指すことを表現しております。事業を通じた社会課題の解決と経営との統合を深め、持続的な企業価値向上を果たそうとする我々の意思をあらためて表明したものです。
- ・なお、テレビCMに関しましても第3弾を明日2月6日から放映する予定となっております。ぜひご覧いただければと存じます。
- ・以上で、説明を終了させていただきます。

私たちの使命は、
先進的なデジタル技術やノウハウを駆使し、
これまでにない新たな発想とやり方で
世の中が抱えている課題を解決すること。
それによって社会にさらなる活力と彩りを与え、
昨日より笑顔であふれる未来を創造したい。
ITには、明日をもっと明るくする力があるはずだから。

ITで、社会の願い叶えよう。



2021年3月期下期

業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想） ※変更なし



(百万円)	2020年3月期 下期	2021年3月期 下期	前年同期比	
売上高	227,420	233,692	+6,272	(+2.8%)
営業利益	25,739	26,289	+550	(+2.1%)
営業利益率	11.3%	11.2%	▲0.1P	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16,144	19,223	+3,079	(+19.1%)
四半期純利益率	7.1%	8.2%	+1.1P	—

主要セグメント別

サービスIT	売上高	65,650	71,631	+5,981	(+9.1%)
	営業利益	5,741	6,228	+487	(+8.5%)
	営業利益率	8.7%	8.7%	±0.0P	—
BPO	売上高	17,478	16,434	▲1,044	(▲6.0%)
	営業利益	1,629	1,291	▲338	(▲20.7%)
	営業利益率	9.3%	7.9%	▲1.5P	—
金融IT	売上高	59,016	61,410	+2,394	(+4.1%)
	営業利益	8,010	8,625	+615	(+7.7%)
	営業利益率	13.6%	14.0%	+0.5P	—
産業IT	売上高	103,287	104,527	+1,240	(+1.2%)
	営業利益	10,646	10,301	▲345	(▲3.2%)
	営業利益率	10.3%	9.9%	▲0.4P	—

© 2021 TIS Inc.

*下期計画は通期計画から上期計画を控除したものです。

18

(説明省略)

発表日付	タイトル
2020年10月1日	TISおよび連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2020年10月1日	TIS、骨格診断の第一人者である二神弓子氏初認定の「AI骨格診断サービス」を提供
2020年10月5日	TIS、タイの上場IT企業であるMFECを連結子会社化
2020年10月5日	タイ王国 MFEC Public Company Limited株式に対する公開買付けの結果及び子会社の異動に関するお知らせ
2020年10月6日	TIS、みずほ銀行の約400支店の決算書管理をペーパーレス化するワークフローを構築
2020年10月7日	アグレックス、「RPA Partner Conference 2020」にて「NTT DATA RPA Partner AWARD 2019 技術力部門」を受賞
2020年10月8日	TIS、会津若松市のナイトタイムエコノミー施策「極上のはしご酒」のデジタルクーポンの仕組みを提供
2020年10月9日	ネクスウェイ、薬剤師向け情報提供サイト『アスヤクLABO』の会員数が10,000人を突破
2020年10月12日	自動運転車両にXR技術を活用し遠隔観光案内を実施
2020年10月12日	スーパーマーケットを展開する富士シティオ、ネクスウェイのチェーンストア向けコミュニケーションツール『店舗matic』を導入
2020年10月13日	TIS、AR/VR技術を活用した各種サービスを「コンテンツ東京2020」に出展
2020年10月14日	TIS、「マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー2020」Healthアワード受賞
2020年10月14日	ネクスウェイ、薬剤師向け「オンライン研修の手引書」を発行
2020年10月15日	オンライン就活の悩み、第3位は「目疲れ」！？TISが新卒採用向けコンテンツ「目をいたわる企業紹介」をリリース
2020年10月15日	TIS、レッドジャーニーとの業務提携により、DX推進のための「アジャイルPMOサービス」メニューを拡充
2020年10月16日	TIS、東京都「5G技術活用型開発等促進事業」に採択
2020年10月16日	TIS、「AWS移行コンピテンシー」認定を取得
2020年10月16日	インテック、全社eスポーツ大会を開催
2020年10月21日	TIS、「SAP S/4HANA®」マイグレーションの前提となるUnicode化の改修工数を最大95%削減する「SAP® ABAP® Unicode自動変換サービス」を提供
2020年10月23日	インテック、伊予銀行とデータ活用的高度化で連携
2020年10月26日	TISインテックグループ、次期中期経営計画に向けて4つの社会課題と5つの中核事業分野を選定
2020年10月28日	2020年11月、東急の社内ベンチャーとTISの新規事業創出プラットフォームによる事業共創 屋内店舗の空き壁面にアート広告を飾る「WALL ARD」事業の実証実験を開始
2020年10月30日	中央システムのクラウド勤怠管理システム『RecoRu（レコル）』に有給休暇の自動付与機能を追加
2020年11月2日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2020年11月5日	インテック、家電管理アプリ「家電手帳」にマルチメーカー対応のリモコン機能を追加
2020年11月6日	TISの健康活動サポートアプリ「ASTARI」に参画企業が5社増え全国43都道府県でクーポンが利用可能に
2020年11月9日	TIS、決済関連サービス「ブランドデビットプロセッシングサービス」に「くじ引き機能」を追加
2020年11月10日	TIS人事異動のお知らせ
2020年11月10日	代表取締役の異動（社長交代）に関するお知らせ
2020年11月10日	会社分割（簡易吸収分割）による当社完全子会社への中央官庁・自治体等行政機関向け事業の一部事業承継に関するお知らせ

(説明省略)

発表日付	タイトル
2020年11月12日	TIS、東和薬品主催の「第2回 未来と健康のための高校生ビジネスコンテスト」協賛
2020年11月13日	2021年3月期 第2四半期決算説明 動画配信
2020年11月17日	TIS、紙帳票を扱う業務プロセス全体を自動化する「紙帳票デジタル化トータルサービス」の提供を開始
2020年11月18日	ネクスウェイ、薬剤師向け研修管理サービス『アスヤクLIFE 研修』をリリース
2020年11月18日	インテック、AWS Partner Network (APN) アドバンストコンサルティングパートナーに認定
2020年11月19日	TIS、金融領域のAI/データ分析に強みを持つセカンドサイトと資本・業務提携
2020年11月20日	TIS、2020年度「DCエクセレントカンパニー（継続投資教育部門）」に選出
2020年11月26日	TIS、生産改革に「プロジェクト管理自動化サービス」を提供開始
2020年11月26日	フジキン、ネオアクシスの「体験型PoC（概念実証）サービス」を用いてインフォアの製造業向けクラウドERPを導入
2020年11月27日	ネクスウェイ、コロナ禍の売場づくりを支えるオンライン臨店サービスとして『売場ウォッチ』をリニューアル
2020年11月27日	ネクスウェイ、オンライン本人確認eKYC対応『ネクスウェイ本人確認サービス』とSMS認証サービス『SMSLINK』のセット導入支援を開始
2020年12月2日	ネクスウェイ、吉積情報と業務提携 チェーンストア向けコミュニケーションツール『店舗matic』とGoogle Workspaceのワンストップでの導入支援体制を構築
2020年12月8日	インテック、EDI2024年問題解決に向けた新たなEDIネットワークサービスを提供開始
2020年12月9日	TIS、ESG情報の活用に関する共同研究を東京理科大学インベストメント・マネジメント、三井住友トラスト・アセットマネジメントと実施
2020年12月9日	TIS長野、アマゾン ウェブ サービス(AWS)のAPNセレクトコンサルティングパートナーに認定
2020年12月14日	クオリカ、アパレル大手TSIホールディングスへビーコンを活用した新たな店頭サービスを提供
2020年12月14日	全国住所マスター「ADDRESS」の収録エリアをGIS上で可視化するオプション製品「ADO-POLYGON」を提供開始
2020年12月15日	日本全国の宅内で稼働しているスマート家電は20種類以上！インテック、ホームオートメーションに向けた宅内のスマート家電の保有状況を調査
2020年12月15日	インテック、金融システムの人材育成を目的としたIT・ビジネス研修に「スマホネイティブアプリ開発」コースを開講
2020年12月16日	ネオアク시스、手軽に使えるクラウド型eラーニングサービス「楽々てすと君」の「新年度お手軽教育半額キャンペーン」開始
2020年12月17日	アグレックス、営業活動効率化アプリ「Incubate Block」にオンライン商談システム「RemoMee」との連携機能を追加
2020年12月18日	freeeとインテックが協業を開始
2020年12月18日	TIS、ローカル5G無線局設置に向け商用局免許を申請
2020年12月21日	インテック、EDIアウトソーシングサービス「EINS/EDI-Hub Nex」で顧客向けポータルサイトの提供開始
2020年12月23日	インテック、世界で高評価のデータ分析基盤「Dataiku」の日本語版ガイドブックを提供開始
2020年12月23日	インテック、令和2年度とやま健康経営企業大賞を受賞
2020年12月23日	TIS、沖縄全域におけるMaaS実証事業である「沖縄MaaS」のサービスを開始
2020年12月24日	インテック、自治体向けIoTプラットフォームを開発
2020年12月24日	TIS、地図情報統合ソフトウェアmyWorldを活用したエネルギー業界特化型レジリエンス強化ソリューションを提供開始

(説明省略)

ITで、社会の願い叶えよう。



<本資料の取り扱いに関して>

本資料は、著作権法及び不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、TIS株式会社から許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。本文記載の社名・製品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。

(説明省略)